森小だより

○考える子　○思いやりのある子　○強い子

森田小学校 学校だより　第７号
令和５年１１月７日
TEL　56-0131　Fax　56-3168
Mail　morit-e@fukui-city.ed.jp

祝　森田小学校創立１５０周年

１１月３日（金）に、森田小学校創立１５０周年記念式典を執り行いました。１１月とは思えない季節外れの陽気の中、オカモト鐵工株式会社代表取締役 草壁正明 様をはじめ、家庭・地域・学校協議会委員の皆様のご参列のもと、式典を実施しました。

【校長あいさつ】（一部）

明治、大正、昭和、平成、そして令和と時代が流れ、これまで１５０年の間に、この森田小学校をたくさんの方が卒業されました。そして、たくさんのすばらしい森田小学校の伝統を築いてくださり、今も受け継がれています。私が考える、特にすばらしい伝統として受け継がれていることは、「無言清掃」です。３年生以上の７００名を超えるみなさんが、最高学年である６年生を手本に、おしゃべりをせず、黙々と掃除をする姿は、たいへんすばらしく、森田小学校の良い伝統の一つとなっています。

さて、児童のみなさん、「森田」という名前のいわれを知っているでしょうか。3つの説があると言われています。一つ目は、上野地区にあったとされる２本の大きな杉の木と、古市地区の八幡神社の１本の大きな木を合わせて、３本の大木があったことから三木田と呼ばれ、そこから森田となったという説です。二つ目は、古市地区、八重巻地区、天池地区にあるそれぞれの神社の中に木がたくさん生い茂っていたことから森田となった説です。三つ目は、昔、九頭竜川がよく氾濫したそうです。これを防ぐために森林をつくったので、そこから森田となった説です。

いずれにしても、「木」が関わっています。木は、ぐんぐん生長します。森という漢字は、木が１本ではなく、３本あります。同じように、森田小学校のみなさんは一人ではなく、周りにはたくさんの友達がいます。友達と協力して、これからも、木のようにぐんぐん成長していってもらいたいと思います。

【福井市教育長祝辞（ビデオメッセージ）】（一部）

この１５０年の間に、森田小学校は、保健体育や学校保健の分野で文部大臣表彰を受賞されたり、ＰＴＡ活動において、県ＰＴＡ連合会長賞を受賞されたりするなど、教育に熱心な学校として承知しております。さらに、１，２年生の生活科や３～６年生の総合的な学習の時間には、地域の方々がゲストティーチャーとして、子どもたちと一緒に学ぶなど、地域と共に学ぶ森田小学校の教育は、福井市の目指す教育にも合致し、今後も広がっていきますことを期待しております。

明治６年の下森田小学校としてスタートした当時は、通学する子どもたちの人数は、約５０名程度でした。１５０年後の現在は、1,117 名であり、福井県下最大人数をほこる小学校です。この栄えある１５０周年を契機として、1,117 名の児童の皆さんが、ふるさと「森田地区」さらには「福井」を愛し、いろいろな場面で活躍できる人に成長していかれることを願うと共に、森田小学校のますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

【児童代表あいさつ】（一部）

ぼくたちは、「伝えたい森田の宝」というテーマで総合の学習に取り組み、森田小学校の歴史や森田地区の自然・文化について調べてきました。そして、長い歴史をかけて森田小学校がどんどん変わってきたことを知りました。

私たちに人気のアキレス山は、工事の方だけでなく、保護者の方や当時の先生など、多くの方々によって作られました。昔は木造だった校舎も、形を変えながら少しずつ教室が増えてきました。そして、この体育館も、新しく建て直されたり、きれいに修復されたりして今の姿になりました。

学校は変わってきましたが、昔の小学生も私たちと同じように、この場所で集まったり運動をしたりしていたことを考えると、私たちは歴史の中でつながっている気がします。

現在は児童数も増え、1,117 人になりました。福井県一の大きな学校です。
今年はコロナも落ち着き、みんなそろって活動できる行事が増えました。10 月の体育大会では、各色が一致団結し、さまざまな競技に取り組むことができました。また、応援タイムでは、久しぶりにみんなで大きな声を出して応援することができました。
私は応援リーダーとして、１年生から６年生の心を合わせた応援の声を受けながら、ダンスができたことが心に残っています。

わたしたちの大切な思い出がつまったこの森田小学校が、これからも五十年、百年と伝統が引き継がれて、福井県一の素晴らしい学校に発展していくことを願っています。私たち六年生も、あと半年ですが一日一日を大切にしてがんばっていきます。

図書を寄贈していただきました

地元の企業であるオカモト鐵工株式会社様より、児童用図書１２５冊等を寄贈していただきました。記念式典では、代表取締役 草壁正明 様より児童代表に対し、目録を贈呈していただきました。

児童数増加に伴い、人気のある図書を借りるのが難しい場合があります。このようなことを解消するために、オカモト鐵工様のご厚意により、人気のある図書を中心に寄贈していただきました。森田小学校の子どもたちが、さらに読書好きになってくれることを期待しています。

記念講演　～福井商業高校　五十嵐先生とＪＥＴＳ～

福井県立福井商業高等学校 五十嵐裕子先生とＪＥＴＳの皆さんが、「笑顔の力と夢見る力～ＪＥＴＳの奇跡～」という演題で、講演をしていただきました。５，６年生は体育館で、１～４年生は、オンラインを活用して教室のテレビで講演を聞きました。

五十嵐先生は、夢をもち、叶うと信じる心をもち続ければ、夢は叶うということを伝えてくださいました。また、演技を上達させるには、当然練習も必要ですが、「挨拶をする」「そうじを一生懸命する」などの普段当たり前のことをきちんとすることが大切であるともお話ししてくださいました。

時折、ＪＥＴＳの部員さんが自分の経験談を話す場面も作っていただきました。小学生の頃は、「走るのが苦手だったけど、走ることを楽しいと思うようになったら克服できた。」「信頼していた友達から意地悪をされるようになったけど、他に仲の良い友達を作った。今でもその友達とは仲良しである。」などを話してくれました。笑顔でダンスの上手な部員さんの生の経験談を聞くことにより、森田小の子どもたちにとって、これから生活をしていく上で参考になったことと思います。

講演の後半には、１～４年生のどの教室にも、ＪＥＴＳの部員さんが入ってくれて、各教室でダンスを教えてくれたり、一緒に踊ってくれたりするなど、楽しい時間を設けてくれました。

森田小学校の歴史が伝わるお宝

栄町にお住まいの東田孝三 様（森田小を昭和３１年にご卒業。昭和６２年～平成元年時のＰＴＡ会長。）が、ご自宅に保管されていた、森田小学校の歴史が伝わる資料をお持ちくださいました。ご自身の卒業証書や通知表、当時の様子が分かる写真等を見せてくださいました。東田様、貴重な資料を見せていただき、ありがとうございました。

体育大会プログラム（昭和２８年）

入学式写真（昭和３０年）